

顔の見える連携づくり委員会の 10年間を振り返って

船橋在宅医療ひまわりネットワーク 副代表

顔の見える連携づくり委員会 リーダー

(船橋市介護支援専門員協議会 会長)

杉田 勝

船橋在宅医療 ひまわりネットワークの設立

2013（平成25）5月31日

医療・介護関係団体及び
行政（船橋市）で組織する任意団体

地域包括ケアシステムの核となる

在宅医療の充実と

医療・介護の連携を推進するために、
多職種間での顔の見える連携づくり、
人材の育成、在宅医療提供時における
支援体制の検討等の活動を実施

船橋在宅医療ひまわりネットワーク

任意団体：医療・介護関連 26 団体 市民活動団体 1 団体 行政 1 団体

<代表> 船橋市医師会 前会長

<副代表> 船橋歯科医師会 前会長 船橋薬剤師会 前会長 船橋市介護支援専門員協議会 会長

事務局
・船橋市

役員会 (代表・副代表・監事・企画委員)

委員会 (事業ごとに設置)

顔の見える連携
づくり委員会

在宅医療・介護を推
進するための連携の
あり方についての検
討 等

人材育成
委員会

在宅医療・介護に関
する研修体系につい
ての検討、研修の企
画・実施 等

安心の確保
委員会

在宅医療・介護が安
心して提供される環
境づくりについての
検討 等

資源情報管理
委員会

在宅医療・介護資源
情報の収集、ホーム
ページの管理・更新
についての検討 等

地域リハ推進
委員会

在宅医療・介護連携
に資する地域リハビ
リテーションの推進
についての検討 等

認知症の人にやさし
いまちづくり委員会

認知症になっても本
人及びその家族が安
心して暮らせる街づ
くりを目指す 等

会 員

船橋市医師会 船橋歯科医師会 船橋薬剤師会 千葉県看護協会 千葉県理学療法士会 千葉県作業療法士会 千葉県言語聴覚士会
千葉県歯科衛生士会 船橋市介護支援専門員協議会 船橋市ソーシャルワーカー連絡協議会 ふなばし市訪問看護連絡協議会
船橋市訪問介護事業者連絡会 千葉県在宅サービス事業者協議会 船橋市栄養士会 船橋市介護老人保健施設協会 船橋市老人福祉施
設協議会 船橋市認知症高齢者グループホーム連絡会 NPO法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア 船橋市回復期リハビリ
テーション病棟連絡会 船橋市訪問リハビリテーション連絡会 船橋市通所リハビリテーション連絡会 船橋市デイサービス連絡会
船橋市障害福祉施設連絡協議会 船橋市小規模多機能型居宅介護連絡会 認知症の人と家族の会千葉県支部 東葛南部認知症疾患医療
センター千葉病院 船橋市定期巡回・随時対応型訪問介護看護連絡会 船橋市 (個人)

連携団体

船橋南部在宅療養研究会

在宅医療・介護連携の
課題の抽出と
対応の協議

在宅医療・介護資源情報
データベースの提供

市民への相談支援
在宅医療・介護関係者の
連携支援

在宅医療・介護関係者の
負担軽減

在宅医療・介護に
関する啓発・研修の
相互協力

在宅医療支援拠点 ふなぽーと <船橋市が設置 (平成27年10月～:保健福祉センター1階)>

「基本的心得」の策定にむけて始動

心得の策定

運用・評価・改善方法の検討

策定部会 平成27年7月29日～

- 汎用性の高い基本的な内容の心得とする
- 目標の設定
 - ・ 心得の運用によって地域連携がどう変わるか
- 運用状況の把握・問題点の抽出方法
- 評価の基本的な頻度
- 改善後の運用範囲の拡大方法
- 運用説明会の実施方法

他

心得化する課題の抽出



地域（勉強会）から出された問題整理作業が終了。課題から具体的な心得策定にむけて、医療機関・在宅支援・本人（家族を含む）役割を明確化。

- ・ 何から取り組めるか？
- ・ 実践可能かを検証
- ・ 関係機関同士の顔の見える化

相互協力できる範囲（心得）を策定し、PDCAサイクルでの運用・評価を定期的に行っていく。

【策定する心得の趣旨】

医療・介護関係者等が同じ視点を持って利用者・患者を支えるための「みちしるべ」となるような決まりごと

運用に向けて

- 運用説明会において心得の運用に直接携わる方々との合意を形成し、運用開始に向けて具体的に始動

入退院時の心得づくりの理念

方針 入退院時支援の心得を基盤として 地域医療・介護連携の充実を図る

活動の方向性

- ① ケアマネジャーが介在する入退院時の支援のきまりごとを「**基本的心得**」として策定・運用
- ② 運用の過程において評価・改善を重ねる中で、地域医療・介護連携の充実に必要な要素を「基本的心得」に追加するとともに、必要に応じて新たな心得を策定
- ③ 地域医療・介護連携の充実に必要な要素は、患者の生活に合わせ、「入退院支援」「日常療養の支援」「急変時の対応」「看取り」等の視点から検討

基本的な考え方

利用する社会資源によって、医療・介護を必要とする方の生活の質に差が生じないように、地域における医療・介護連携に関する問題点についての共通認識を持ち、解決するための必要な約束事を考える。

「船橋市における在宅医療・介護連携の心得」

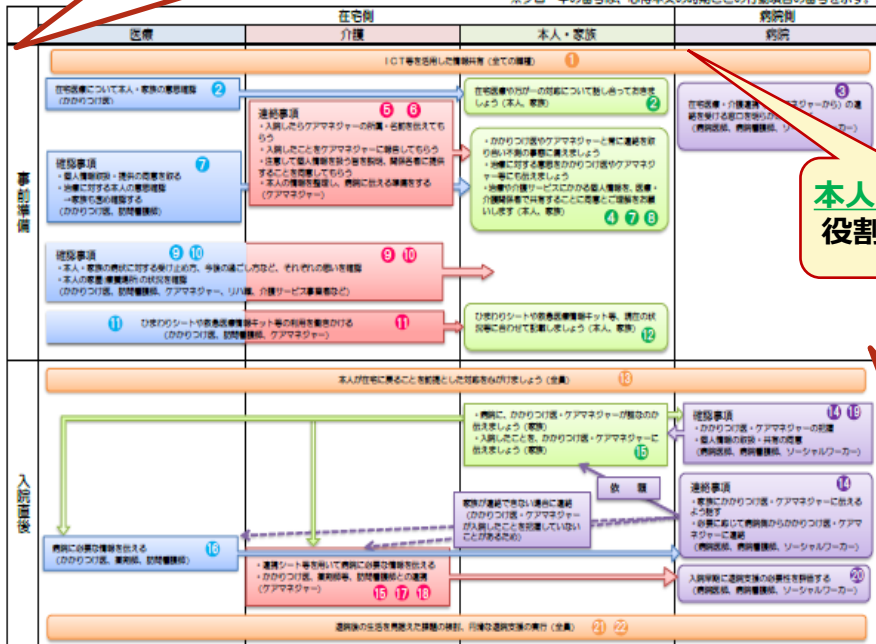
入退院時の連携に関する困りごとを解決するために必要な約束事を「心得」と位置づけ、基本的な行動を明示した。

5つのカテゴリー

- ①事前準備 ②入院直後 ③入院中 ④退院に際して ⑤退院後

心得フロー

※フロー中の番号は、心得本文の時期ごとの行動項目の番号を示す。



本人・家族の役割を明記

それぞれに行ってほしいことを色別で示す

- オレンジ 全員
- 水色 在宅側 (医療)
- ピンク 在宅側 (介護)
- 緑色 本人・家族
- 紫色 病院側

事前準備

- ① 病院側・在宅側は、ICT (例：船橋市在宅医療・介護連携支援用患者情報共有システム) 等を常日頃から活用し、情報共有を心がけましょう。
- ②② 本人・家族は、在宅医療についてどのようにしていきたいのか話し合っておきましょう。また、かかりつけ医は在宅医療について本人・家族に意思確認をしておきましょう。
- ③ 病院側は、在宅医療・介護連携における連絡窓口を決めておき、円滑な連携となるよう心がけましょう。
- ④ 本人・家族は、かかりつけ医やケアマネジャーと常日頃から連絡を取るなど、困りごとや不測の事態に備えられるようにしましょう。
- ⑤ ケアマネジャーは、本人・家族に自分の所属と名前を覚えてもらい、入院した場合は、病院にケアマネジャーが誰であるかを伝えてもらうように話しておきましょう。
- ⑥ ケアマネジャーは、本人の在宅での生活状況等をしっかりと把握し、入院した場合は出来る限り迅速に病院へ情報提供できるように、準備しておきましょう。また、個人情報をご関係者へ提供することについて本人・家族に説明し了承を得ておきましょう。
- ⑦⑦ かかりつけ医・訪問看護師は、個人情報を各関係者へ提供することについて本人・家族に説明し了承を得ておきましょう。また、治療に対する本人・家族の意思を確認しておきましょう。
- ⑧ 本人・家族は、治療や介護サービスに関する個人情報について、医療・介護関係者で共有することに同意とご理解をお願いします。
- ⑨⑨ 在宅側は、本人・家族がどのように病状を受けとめているのか、今後どのような思いを描き、過ごしていきたいのかを確認しましょう。
- ⑩⑩ 在宅側は、本人の家屋 (療養場所) の状況を確認しましょう。
- ⑪⑪ 在宅側は、本人が入院した場合の速やかな連携のため、情報ツール (例：ひまわりシート・救急医療情報キット※) の利用を推奨するなど、常日頃から準備を働きかけ、入院時に持参するよう協力を呼びかけましょう。
[※重要な医療情報をコンパクトに収録し、病院側に確実に伝える救急医療情報キットです。緊急事態に本人・家族に代わり医療情報を病院側に確実に伝えることができ、適切な処置が速やかに受けられます。]
- ⑫ 本人・家族は、病状が急変した時などに迅速病院にかかる際、現在の状況等併せて正確に伝えること出来る情報ツール (例：ひまわりシート・救急医療情報キット) に必要事項を記載しておきましょう。書き方が分からないときはケアマネジャーやかかりつけ医などに相談しましょう。

入院直後

- ⑬ 病院側・在宅側は、本人が在宅に暮らすことを前提とした対応を心がけましょう。ケアマネジャーやかかりつけ医が誰なのかを本人・家族からケアマネジャーに伝えてもらい場合は、病院側から連絡しましょう。場合は必要に応じてかかりつけ医や薬剤師

心得づくりのスケジュール

日程	内容
平成27年7月15日～ 平成28年2月	【地域連携勉強会】会場：船橋市立医療センター 7月15日開催 心得策定に伴う医療・介護関係者の困りごと及び課題抽出の勉強会。 【心得策定部会】 2回の「心得策定部会」を開催し、心得策定開始。 【顔の見える連携づくり委員会】 策定部会で検討した結果をから作成した心得の内容を検討。
平成28年3月30日	【役員会】 委員会にて策定した心得（案）について、役員会において役員の上承。
平成28年6～9月	【心得運用についての説明会】 市内の在宅医療・介護関係者を対象に、心得運用について <u>委員会</u> <u>メンバー</u> と行政職員で説明会を開催。
平成28年10月1日	【心得の運用開始】
平成28年10月1日～	心得の運用開始 病院等で説明会開始

心得の周知活動（1）

期日	機関（会場）
介護関係者（ケアマネジャー等）を対象に実施	
平成28年 6月16日～24日	市内在宅介護事業所（公民館5ヶ所）
医療関係者（病院長・看護師長等）を対象に実施	
平成28年 6月29日	船橋市・鎌ヶ谷市病院事務長・看護管理者 合同会議（研修会にて）
平成28年 7月26日	船橋市医師会 全病院長会議
在宅医療及び病院関係者を対象に実施	
平成28年 9月15日～26日	市内在宅医療事業所（公民館5ヶ所）
市内医療機関からの要請にて実施	
平成28年10月～平成29年度	市内医療機関（総合病院9ヶ所）

心得説明会の様子



心得の周知活動（２）

期日	機関（会場）/内容等
医療・介護関係者（ケアマネジャー等）を対象に実施	
平成30年度～平成31（令和元）年度	市内医療機関・介護事業所にて説明
令和2年1月16日 国内で新型コロナウイルス感染者が初めて確認以降、船橋市における在宅医療・介護連携の心得周知を一時休止。	
新型コロナ感染拡大の中、周知方法を検討	
令和2年度～	例年実施している心得の説明会が実施できないため、いつでも研修が行えるようVTR撮影 1時間（委員会メンバーにて）

コロナ禍での活動

新型コロナ感染拡大の中、深化する心得に向けて

<p>令和3年1月～2月 アンケート調査</p>	<p>委員会で、新たに本人や家族との連携を円滑に行うために「(仮称)本人・家族向けの心得」の作成にむけ、会員へアンケートを実施。</p>
<p>令和3年2月25日 19時30分～Web開 (Zoom) (医療・介護職 20名が参加)</p>	<p>実施したアンケート結果を基に本人や家族との連携を円滑に行うため「(仮称)本人・家族向けの心得」の作成に向けた勉強会を (ZOOM) 開催。 グループワークにて意見を交換。</p>
<p>令和3年度</p>	<p>重複もあったが200個アンケート意見を再分析。新型コロナウイルス感染症の拡大により、委員会は書面 (2回) ZOOM会議にて開催。</p>

令和3年1月12日

船橋在宅医療ひまわりネットワーク
役員及び関係者 各位

船橋在宅医療ひまわりネットワーク
代表 玉元 弘次

(仮称) 本人・家族向け心得掲載項目アンケートについて (依頼)

時下、皆様におかれましては、ご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、日頃から船橋市民の健康及び福祉の増進のため、ご尽力を賜り誠に感謝しております。

船橋在宅医療ひまわりネットワークでは、連携に関する様々な困り事を解消し、円滑な連携を行うための基本的な約束事を『船橋市における在宅医療・介護連携の心得』として作成し、平成28年10月から運用を開始しました。

すでに運用を開始してから4年がたち、皆様の普段の行動において連携が定着していることと思います。

さて、現在船橋在宅医療ひまわりネットワーク顔の見える連携づくり委員会では、新たに本人や家族との連携を円滑に行うために「(仮称) 本人・家族向けの心得」の作成を検討しております。

これは、今ある心得の本人・家族欄に記載している項目について、本人や家族に「事前に〇〇を知っておいてもらおうと本人にとって〇〇のメリットがある」、「〇〇をやっておくと本人・家族側と専門職側でうまく連携がとれる」といったことを記載して、今後在宅療養をするかもしれない状況に備えて、どのように医療介護等専門職と連携していくかを本人や家族に学んでもらうツールとして、現状の心得を補完するものとして考えているものです。

お手数おかけいたしますが、(仮称) 本人・家族向け心得に掲載する項目に関する設問について、回答用紙にご記入の上 FAX でお答えください。

ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

【返信先】 船橋在宅医療ひまわりネットワーク事務局 (船橋市 地域包括ケア推進課)
FAX: 047-436-2409

【返信期限】 令和3年2月12日 (金)

<問い合わせ先>

船橋在宅医療ひまわりネットワーク事務局
(船橋市役所地域包括ケア推進課)

担当: 滝野・小川

電話: 047-436-2354

「(仮称) 本人・家族向け心得」勉強会 の開催について (Zoom 開催)

～日頃皆さんが業務で患者さんや家族の方と関わるとき、
円滑な連携ができずに困ることはありませんか?～

船橋在宅医療ひまわりネットワークでは、連携に関する様々な困り事を解消し、円滑な連携を行うための基本的な約束事を『船橋市における在宅医療・介護連携の心得』として作成し、平成28年10月から運用しています。

すでに4年がたち、皆様の普段の行動において連携が定着していることと思います。

現在船橋在宅医療ひまわりネットワーク顔の見える連携づくり委員会では、新たに本人や家族との連携を円滑に行うために「(仮称) 本人・家族向けの心得」の作成を検討しております。

これは、今ある心得の本人・家族欄に記載している項目について、本人や家族に「事前に〇〇を知っておいてもらおうと本人にとって〇〇のメリットがある」、「〇〇をやっておくと本人・家族側と専門職側でうまく連携がとれる」といったことを記載して、今後在宅療養をするかもしれない状況に備えて、どのように医療介護等専門職と連携していくかを本人や家族に学んでもらうツールとして、現状の心得を補完するものとして考えているものです。

この(仮称) 本人・家族向けの心得を作成するにあたり、掲載項目についてのアンケート結果を集約し、重要なものを抜粋するため、様々な職種の方からご意見をいただくために勉強会を開催することといたしました。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時: 令和3年2月25日 (木) 19時30分～

方法: Web 開催 (Zoom を使用)

内容: (仮称) 本人・家族向けの心得掲載項目についてのグループ
ワーク及び発表

対象者: 医療・介護関係者

コロナ禍での活動

新型コロナウイルス感染拡大の中、深化する心得に向けて

令和4年度

令和4年7月19日 (Zoom開催)

顔の見える連携づくり委員会開催。令和2年度～令和3年度にかけて、グループワークや書面会議等で集めた心得の意見を集約。委員の中からコアメンバーを選出し、本人家族向け心得作成作業部会を立ち上げ、策定準備を開始。

令和4年10月26日 (参集)

本人家族向け心得作成作業部会を開催事務局にて策定した、たたき台を基に内容検討。素案をもとに修正案を検討。さらに少数の専門職で集まる機会をつくり、策定の作業を開始。

コロナ禍での活動

新型コロナウイルス感染拡大の中、深化する心得に向けて

令和5年度～

令和5年6月29日（参集）

本人家族向け 心得作成 作業部会

ケアマネジャーを中心として、昨年検討した作業部会の意見を参考に心得の作成及び修正等を行い今後の方向性について確認。

令和5年9月4日（参集）

本人家族向け 心得作成 作業部会

医師・看護師・ソーシャルワーカー等を招集し、医療面に関する意見を交換し文言の修正や追記等を行う。

本人家族向け 心得 → 心構え

令和5年9月4日（ZOOM開催）

本人家族向け心得（心構え）について素案を作成

“医療や介護と上手に向き合うための心構え”（仮称）

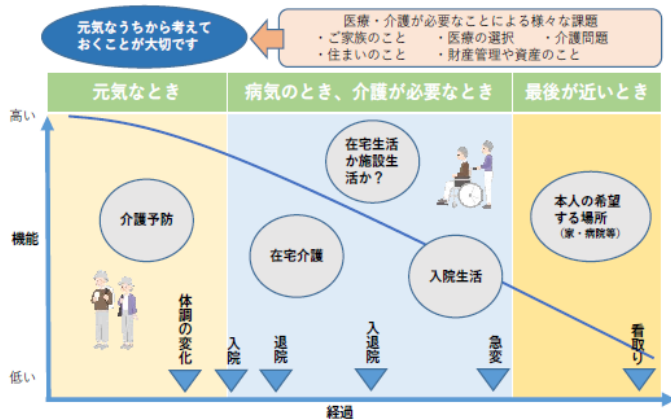
【医療や介護と上手に向き合うための心構えについて】

人生を送る中で、医療や介護が必要となるタイミングは人それぞれです。急に大きな病気を患い闘病生活を強いられることもあれば、加齢による心身の機能低下で徐々に医療や介護が必要となる場合もあります。

どのような経過をたどるにしても、自分らしい人生を送るためには、元気なうちから事前に準備しておくことが大切です。この“医療や介護と上手に向き合うための心構え”では、ご本人が地域で最後まで安心して生活することができることを願い、ご本人、ご家族、ご近所などに向けて、準備のポイントを13項目ご紹介します。

素案

人生の最終段階に向けた過程（イメージ図）



医療や介護と上手に向き合うための 心得 → 心構え として作成中

「心得」を補完する目的で、ご本人・ご家族が在宅療養や人生の最終段階に向けどのような準備が出来ていると良いかのポイントについても記載予定。

今後
令和6年度完成を目指し、「心構え」の冊子をどこに配付し、どのように利用していくかを検討していく。

コロナ禍からの課題

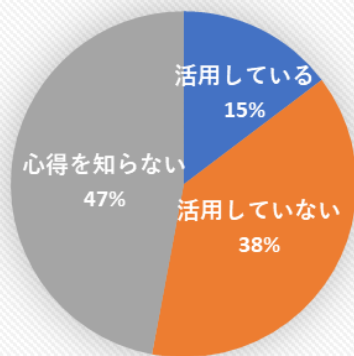
薄れた 在宅医療・介護連携の心得

・顔の見える委員会の活動成果である、在宅医療・介護連携の心得がコロナ禍において、地域のネットワーク連携システムが止まったことで入退院時のシームレスな連携に変化が生じてしまった。。

※2023（令和5）年11月～12月 医療ソーシャルワーカー・ケアマネジャー調査

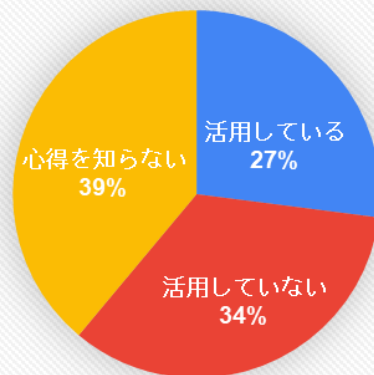
「船橋市における在宅医療・介護連携の心得」を活用していますか？

医療機関「心得」の活用



■ 活用している ■ 活用していない ■ 心得を知らない

ケアマネジャー「心得」の活用



■ 活用している ■ 活用していない ■ 心得を知らない

顔の見える連携つくり委員会の活動は、10年が経過する中
地域での連携システムとして『船橋市における在宅医療・介護
連携の心得』を推進して参ります。
しかしながら、コロナ禍において新たな仲間への心得の周知が
滞ってしまったことで連携が衰退していることから、再び周知
活動を積極的に実施して参りたいと思います。

また、ご本人が地域で最後まで安心して、自分らしい生活を
送ることができることを願い、ご本人、家族のために“医療や
介護と上手に向き合うための心構え”を作成して参ります。

ご清聴ありがとうございました。